

平成30年～令和5年の12～3月(冬山)の山岳遭難事故発生場所

～阿弥陀岳南稜、大同心大滝、ジョウゴ沢乙女の滝等でのアイスクライミング、道迷いや滑落による重大事故が多発しています～

【天候急変への注意】

- ・冬場の山は、突然天候が悪化することがあります。時間に余裕を持ち、無理な行動は控えてください。早めに引き返すなど、安全を第一とした行動を心掛けてください。

【道迷いへの注意】

- ・樹林帯は登山道を示す赤テープ等の目印が雪に埋もれ、見つけにくくなっています。
- ・道標や山頂柱が雪に埋もれ、分岐点や山頂を見落とすことがあります。
- ・雪に埋もれた幼木帯では背丈以上に落ち込むことがあります。脱出困難な場合があります。
- ・地形図やコンパス等（GPS可）で現在地の確認を細やかに行うことが重要です。



北八ヶ岳では道迷いに注意

高見石付近 (1件)
転倒 ※重傷者あり

蓼科山付近 (1件)
疲労により行動不能

天狗岳付近（6件）
滑落・転倒・疲労・凍傷・道迷い
※重傷者あり

東天狗岳付近（2件）
道迷い・凍死
※死亡者あり

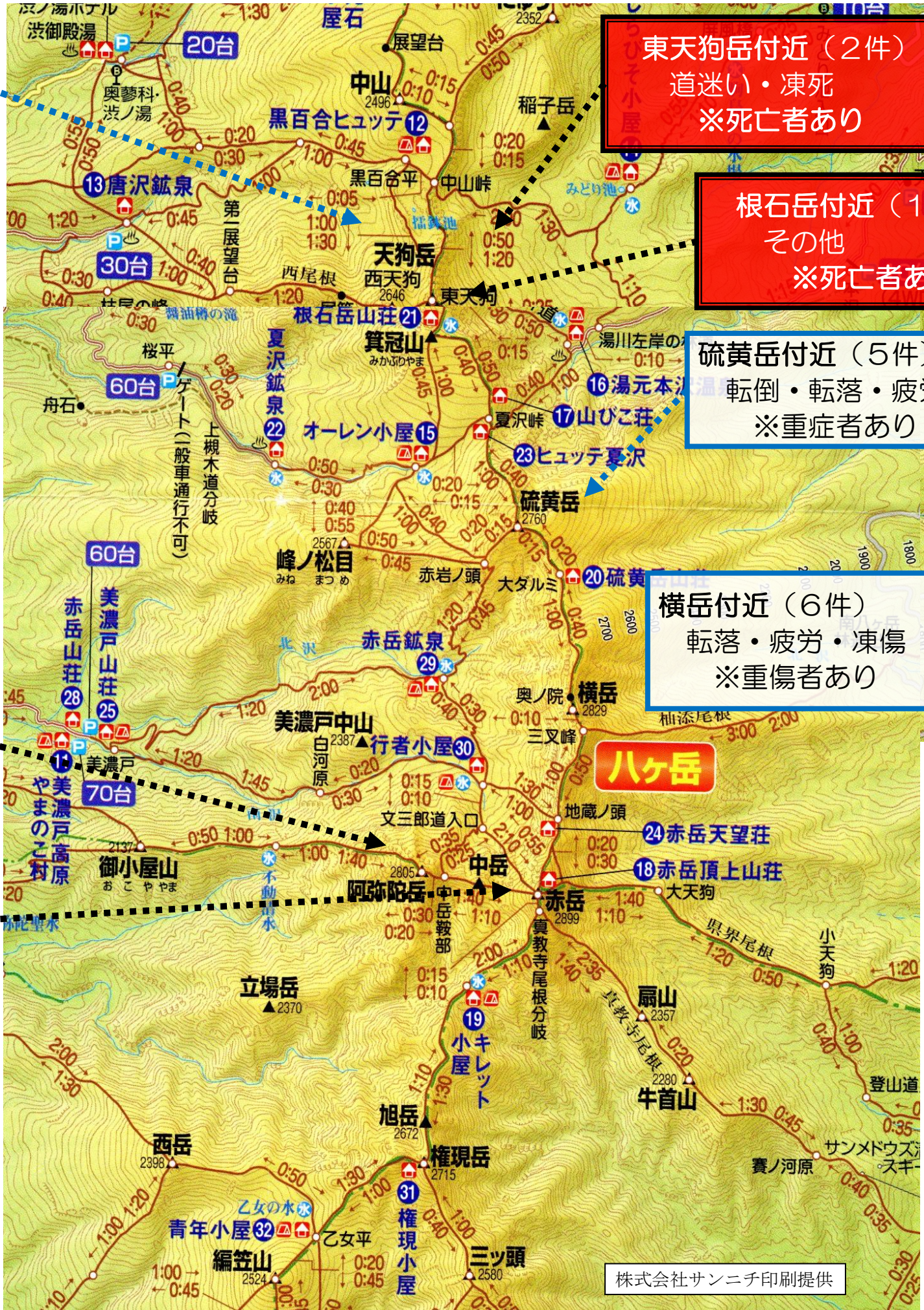
根石岳付近（1件）
その他
※死亡者あり

硫黄岳付近（5件）
転倒・転落・疲労・凍傷
※重症者あり

横岳付近（6件）
転落・疲労・凍傷
※重傷者あり

阿弥陀岳付近（14件）
転倒・転落・滑落
※死亡・重傷者あり

赤岳付近（20件）
転倒・滑落・病気・道迷い
※死亡・重症者あり



株式会社サンニチ印刷提供

南八ヶ岳での下山中の滑落事故多し